

7.21 第二次毒ガス移送阻止

その反人民性を暴露す



毒ガス移送阻止にたが赤ヘル戦士

【東京二十一日電】第二次毒ガス移送阻止の戦い、赤ヘル戦士が勇戦した。その反人民性を暴露す。...

差別裁判を糾弾す

七月一五日に続いて

【東京二十一日電】差別裁判を糾弾する。七月一五日に続いて。...

大員事務処理方式はね返し

調印裁判闘争を統一公判で

【東京二十一日電】大員事務処理方式はね返し。調印裁判闘争を統一公判で。...

入立佐藤訪広阻止へ

【東京二十一日電】入立佐藤訪広阻止へ。...

「戦後処理」としての佐藤の軍

【東京二十一日電】「戦後処理」としての佐藤の軍。...

事外交にむけた訪広を許すな

【東京二十一日電】事外交にむけた訪広を許すな。...

7.27 日韓協力委に痛打

日帝米中会談に動搖

【東京二十七日電】日韓協力委に痛打。日帝米中会談に動搖。...

断乎として統一公判を

69年4月25日第五グループ

【東京二十七日電】断乎として統一公判を。69年4月25日第五グループ。...

調印実力阻止闘争統一被告団の結成にむけ

国際主義かけ統一公判へ

【東京二十七日電】調印実力阻止闘争統一被告団の結成にむけ。国際主義かけ統一公判へ。...

七年沖浦通達

【東京二十七日電】七年沖浦通達。...

共産主義

部落解放闘争の革命的 前進と展開のために

下

- 266号 (6月23日付)
- 1 狭小差別裁判の経過と糾弾闘争
 - 2 269号 (6月23日付) 部落の歴史的根拠と部落解放闘争
 - 3 部落解放闘争と水平社運動

部落解放闘争は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。この運動は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。

部落解放闘争における経済主義

部落解放闘争は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。この運動は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。

4 部落解放闘争の現在の課題

部落解放闘争は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。この運動は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。

部落解放闘争における日共の政治的利用主義

部落解放闘争は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。この運動は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。

5 部落解放闘争の前進に向けて

部落解放闘争は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。この運動は、戦後、日本社会の根本的変革を要求する革命的な運動として、その重要性をますます認識されるに至っている。この運動は、単に部落民の生活改善を目的とするのではなく、社会主義的立場から、社会の根本的変革を要求するものである。

米中会談にみられる周辺革命論の破産

米中会談の結果、周辺革命論の破産が明らかになった。この会談は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、周辺革命論の破産を示している。この破産は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、周辺革命論の破産を示している。この破産は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、周辺革命論の破産を示している。

周辺革命論の破産

周辺革命論の破産は、米中会談の結果、明らかになった。この破産は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、周辺革命論の破産を示している。この破産は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、周辺革命論の破産を示している。

世界革命の進展

世界革命の進展は、米中会談の結果、明らかになった。この進展は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、世界革命の進展を示している。この進展は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、世界革命の進展を示している。

米中関係の正常化

米中関係の正常化は、米中会談の結果、明らかになった。この正常化は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、米中関係の正常化を示している。この正常化は、米中関係の正常化に向けた重要なステップであるが、同時に、米中関係の正常化を示している。

マルクス エンゲルス 共産党宣言

マルクス革命論の本質 論的把握の現実的適用へ

第二次プロットの暴挙を止揚し、70年代階級闘争を極端として推進しようとする前衛へと再生するための闘い「党の革命」を突き進んでから半年、わが第三プロットの不滅不屈の闘いは、この間の苦闘の成果を遺憾なく結実したものであります。それはまさしくマルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。



〔カット写真は「共産党宣言」初版本の複製〕

学 習

A 「共産党宣言」の 要約と基本構造

1848年の革命は、ヨーロッパ全土に波及した。この革命は、封建的専制政治を打ち倒し、ブルジョア的民主政治を樹立した。この革命は、人類の歴史に新しいページを開いた。この革命は、マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

B 資本主義批判 恐慌と窮乏化論

資本主義は、人類の歴史に新しいページを開いた。この革命は、封建的専制政治を打ち倒し、ブルジョア的民主政治を樹立した。この革命は、人類の歴史に新しいページを開いた。この革命は、マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

C 党組織建設と階級形 成—共産主義論

党組織建設と階級形成—共産主義論。マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。

D 世界革命論とドイツ 革命の戦略展望

世界革命論とドイツ革命の戦略展望。マルクス・レーニン主義の革命の第一歩である。唯一無二の革命闘争であることと意識した以上の革命的な成果も、いまだプロット以前には「多数の非マルクス主義者への転向と統一のマルクス主義の思想的再構成」として、そして組織的には「党の革命」は待たせられざるを得ないものである。今やその普遍性は、「蘇聯・プロレタリア」階級の創造にむけたより進んだ階級闘争の中で、その歴史的使命を遂げようとしているのである。そのようなわれわれの到達点を認識しつつ、ここでは、120年有余にわたって国際共産主義の進歩の途程をたどり、その大、又、種々の困難を乗り越えてきた真の革命性をもとめとってきたところの歴史上、最初の「共産主義者同盟」の「臨時草案」(1847年のドイツ版草案)としての「共産党宣言」の学習を促していきたいと思います。